

夏季ダボス会議における李克強総理開幕演説

田中 修

はじめに

9月10日、李克強総理は天津で開催された夏季ダボス会議において、「改革・イノベーションにしっかり依拠し、経済発展の新たな動力を増強する」と題した開幕演説を行った。本稿では、その概要を紹介する（新華網北京電 2014 年 9 月 10 日）。

今回のフォーラムが「イノベーションを推進し、価値を創造する」をテーマとしていることは、強い現実的な意義を有する。イノベーションは人類社会の永遠の話題であり、経済社会発展の消えることのない牽引力である。世界経済の安定・回復はイノベーションに依拠しなければならず、中国経済の質・効率の向上もイノベーションに依拠しなければならない。ここ数年、中国経済が持続的な発展を維持でき、健全な方向に向けて前進している主要な動力は、やはり改革・イノベーションに由来する。

1. 経済情勢と当面の経済政策

（1）経済情勢

今年に入り、世界経済情勢は錯綜し複雑であり、先進国経済の回復は困難で曲折しており、新興市場国の経済成長率が鈍化し、中国経済の下振れ圧力が増大している。我々は安定の中で前進を求めるという政策の総基調を堅持し、冷静さを維持し、主動的に成果を挙げ、強い刺激を行わず、金融も緩和せず、改革を強力に推進し、構造調整に力を入れ、民生改善に力を入れ、経済の平穏な運営を維持した。上半期、中国の経済成長は 7.4% であり、消費者物価上昇率は 2.3% であった。経済成長率が鈍化している情況下、1-8 月期、31 の大中都市の調査失業率¹は 5% 前後を維持し、都市新規就業増は 970 万人余りで、前年同期比で 10 万人余り多く増加した。

経済の下振れ圧力が増大しているのに、雇用が減らず逆に増えているのは、主として改革が力を発揮した結果である。今期政府が成立して以降、我々は行政審査・許認可制度の改革推進に力を入れ、各部門は既に 600 項目余りの行政審査・許認可事項を、取消・下方委譲した。今年はさらに全国で商事制度等の改革を推進し、企業参入のハードルを引き下げ、「金縛り状態」を緩和し、全社会の起業・興業の情熱を極大にまで動員した。

1-8 月期、新たに資本登記した市场主体 800 万社余りで、そのうち 3-8 月期、工商登記制度改革後新たに資本登記した企業は前年同期比 61% 増となり、「石油が噴出するよう

¹ 都市登録失業率に替わる新しい失業率統計として、李克強総理が検討を進めていたものである。

な」増加が出現し、1000 万人以上の雇用をもたらした。我々が商事制度の改革を推進するだけでなく、投融資・税制・流通等の体制改革をも推進し、サービス業等新興産業の発展のためのバルブを更に開いたことは、雇用拡大にとって重要な「推進器」「収納器」の役割を発揮することとなった。

中国経済の積極的な変化は、雇用の増加と個人所得の伸びに表われているだけでなく、構造の最適化にも体现されている。行政の簡素化・権限の開放に「方向を定めた減税」・「方向を定めた預金準備率引下げ」等の財政・税制・金融措置を加え、サービス業、「三農」、小型・零細企業、民営企業・新興業態の発展を有力に支援した。

上半期、

- ①高速配達・電子ビジネス等の新産業・ニュービジネスモデルが急速に成長した。
- ②新たに資本登記したサービス企業の伸びは 70%以上であり、第 3 次産業の成長率・ウエイトは、引き続き第 2 次産業を上回り、国民経済において先導的地位にある。
- ③固定資産投資に占める民間投資のウエイトは、前年同期比で 1.4 ポイント高まった。
- ④ハイテク産業と装置製造業の成長率は、いずれも工業全体の成長率より速かった。

構造調整が深く推進され、経済成長の質が高まった。我々は改革・イノベーションを動力とし、一方の手で過剰生産能力を圧縮・削減、とりわけ落後した生産能力を淘汰に取り組み、他方の手で新たな成長スポットの育成に取り組んだ。上半期、エネルギー多消費・高排出業種の投資・生産の伸びは顕著に鈍化した。GDP 単位当たりエネルギー消費は、前年同期比で 4.2%低下し、炭素排出強度が 5%前後低下したことは、長年の低下率の中で最大である。

経済は総体として安定し、安定の中で質を高めている。重要なことは、我々が区間コントロール下での方向を定めたコントロールを実施し、経済社会発展のカギとなる分野・脆弱部分にしっかり取り組み、改革・イノベーションの手法を更に多く運用し、「活力を奮い立たせ、不足部分を補い、実体を強化する」ことに集中して、精確に力を発揮し、方向を定めて施策を行ったことである²。

これは実際のところ、一種の構造的コントロールであり、改革のみならず調整を包括しており、①資源配分において市場に決定的役割を発揮させるよう努力し、市場の障害打破に力を入れるものであり、②政府の役割を更に好く発揮させ、社会の公平の促進に努力するものである。

我々は内外の要求について積極的にバランスを図り、地域の発展の協調を図り、都市・農村の格差を縮小し、農産品の供給を安定させる。我々はまた、中西部の鉄道、バラック地区の改造、汚染対策等の民生と発展に係るプロジェクト建設を強化する。拡大するのは、

² ゴチックは筆者。

いずれもバランスのとれた発展を長期に成約してきたボトルネックの部分であり、新しいタイプの都市化を力強く支援し、公共財の供給を有効に増やすものである。

（２）当面の経済政策

内外経済に新たな常態が出現している下で、我々は冷静さを維持し、深くにまで力を入れ、構造調整等の長期的問題に更に注意を払い、決して単体の指標の短期・小幅な変動につられて舞い踊りはしない。例えば、７・８月の電力使用量・貨物運送量等の指標³に変動が現れているが、これは避け難いものであり、想定内でもある。なぜなら、内外経済情勢は依然複雑で変化に富んでおり、昨年下半年の我々の発展のベースも高かったからである。中国経済を見る際には、眼前のもの・局部・単体のものだけを見てはならず、動向・全局・総体をもっと見なければならない。

我々は区間コントロールという基本的考え方を堅持する。経済成長率が 7.5%前後を維持してさえいれば、多少高かろうと低かろうと、いずれも合理的区間に属しているのである。とりわけ、安定成長は雇用を維持するためのものであり、コントロールの下限は比較的な雇用であることを見てとらねばならない。総量の拡大、とりわけサービス業の発展が迅速であることに伴い、経済成長の雇用容量は拡大し、変動への許容度も高まっている。

また、中国経済には巨大な強靱性・潜在力・挽回の余地があることを見てとらねばならない。我々が採用している措置は、当面に利するのみならず、長期にも恩恵が及ぶものであり、大きな起伏の出現を防止する能力があり、ましてや「ハードランディング」は発生しない。

しかし、このことは決して我々が発展において困難・試練がないと言っているのではない。むしろ、我々が遭遇している困難・試練は依然として非常に困難なものである。

今年あと 4 ヶ月、我々は安定成長・改革促進・構造調整・民生優遇・リスク防止を統一的に企画し、マクロ・コントロールの基本的考え方・方式を不断に整備・刷新し、区間コントロールの基礎の上に方向を定めたコントロールを強化し、構造の改革・調整を推進し、壮士が腕を断つ覚悟・背水の陣の決意を抱いて、小さな部分から全局にまで影響が及ぶような重点改革を推進し、長期にわたる問題の解決に着眼しなければならない。

①引き続き政府自身の革命から始める

行政の簡素化・権限の開放を更に強化する。

財政・税制改革を深化させ、予算管理制度改革を推進することにより、公共資金を公平・有効に使用する。サービス業とりわけ研究開発型企業の発展を支援するための「営業税を増値税に改める」テストを引き続き拡大する。

金融改革を深化させ、民営銀行のテストを推進し、金融業の参入制限を整理・規範化し、様々なレベルの資本市場の発展を推進する。

³ これらは、李克強が以前から経済動向を測るものとして、重視している指標である。

国有企業改革を深化させる。

価格改革を推進し、エネルギー・製品・薬品・医療サービスの価格形成メカニズムを整備する。

投資体制改革を深化させ、政府のサービス購入・公私協力モデル・特許経営制度を推進する。

②引き続き深層レベルの構造的矛盾の打破を軸とする

公共財の有効な供給を更に増やし、有効需要の牽引により、投資の不足部分を補い、個人消費を拡大し、新たな成長分野を開拓する。

③引き続き財政・金融のフロー・ストック資金をうまく用いる

実体経済・新興産業・新興業態への支援を更に増やし、「三農」、小型・零細企業、サービス業等に更に多く恩恵を与える。

我々の努力を通じて、「改革のボーナス」を「発展のための新たな機能」・「民生のための新たな福祉」に転化する。中国は不断に困難を克服し、今年の経済社会発展の主要予期目標を実現する自信・能力・条件を有する。

2. 中長期の経済政策

中国はなお発展途上国であり、経済建設を中心とすることを常に堅持しなければならない。発展は絶対の道理であり、これは全ての問題を解決する根本である。経済発展方式は転換しなければならない、経済発展は適切でなければならない。当然、我々の言う発展とは、雇用・所得が増加する発展であり、質・効率が向上し、省エネ・環境保護が進む発展であり、経済ルール・社会ルール・自然ルールに適合した科学的発展である。

現在、世界経済の不安定・不確定要因は依然かなり多く、中国経済は正に深層レベルの矛盾が際立ち、「3つの時期が重なる」⁴段階にあり、難関克服のカギとなる時に達している。下半期及び今後一時期、我々は経済発展方式の転換を更に加速し、構造改革によって構造調整を促進し、イノベーションという「金の鍵（決め手）」をうまく使い、体制イノベーション・科学技術イノベーションの推進に力を入れることにより、中国経済を中高速成長に維持させ、ミドル・ハイエンドのレベルに邁進させ、価値を創造し、中国経済のグレードアップ版を作り上げる。

（1）体制メカニズムの刷新の歩みを加速する

中国経済が毎回蛹から蝶に羽化していくためには、いずれもイノベーションに依拠しなければならない。イノベーションは単に技術のイノベーションだけではなく、体制メカニズム・管理・モデルのイノベーションを含む。中国の30年余りの改革開放の本質は、規模

⁴ 本年3月の政府活動報告で指摘された、中国経済は、①成長速度のギアチェンジの時期、②経済構造調整の陣痛の時期、③経済体制改革的正念場の時期、にあるという現状認識を指すものと思われる。

の広大なイノベーション行動であり、今後のイノベーション進展の巨大な潜在能力は、依然体制改革の中に内蔵されている。

思うに、13億の人口のうち8、9億の労働者がおり、もし彼らを皆起業とイノベーションによる創造に投入したならば、巨大なパワーとなる。カギは、思想を更に解放し、社会の創造力を更に解放・発展させ、企業・市場の活力を更に奮い立たせることである。発展を束縛する全ての体制メカニズムの障害を打破することにより、起業意欲のある者には全て自主起業の余地があるようにし、イノベーションによる創造の血液を全社会に自由に流動させ、自身の力で発展するという精神を大衆の中で盛んな風潮にする。

改革・イノベーションという「革命の勢い」を借り、中国の960万平方キロの土地の上に、「大衆による起業」・「草の根起業」の新たなブームを巻き起こし、中国人民が勤勉で賢いという「天賦の器量」を十分に発揮すれば、中国経済の持続的発展の「エンジン」は代が変わるごとにグレードアップすることになるだろう。

（2）中国の改革全面深化に終わりはない

政府は率先して自己を革命し、一旦方向を定めた以上後悔はしない。我々は行政管理体制改革を引き続き深化させ、努力して短期間に行政審査・許認可事項の取消・下方委譲の5年ノルマを達成し、市場の潜在能力と発展の動力を発揮させる。

もし行政の簡素化・権限の開放が「先手」だとすれば、制度建設は「連環炮」⁵である。

①一面において、政府は何をすべきかの「権限リスト」を打ち出し、「法が授權していない事は行わない」ようにする。

このようにしてはじめて公権力の濫用を防止し、レントシーキング現象を減らし、政府に真に人民・大衆のために奉仕するという職責を履行させることができるのである。

②他方で、企業が何をできないかの「ネガティブリスト」を打ち出し、「法が禁止していない事は全てできる」ようにする。

このようにしてはじめてオープン・透明で予想が安定した制度手配を形成し、企業の活力の十分な前進を促すことができるのである。

③さらに他方で、政府がどのように市場を管理すべきかの「責任リスト」を打ち出し、「責任を法定した事は行わなければならない」ようにする。

信義誠実の経営で競争が公平な市場環境を確立・擁護することにより、企業の動力を奮い立たせ、イノベーションによる創造を奨励する。

政府は進行中・事後の監督管理を強化し、市場秩序の「裁判官」と改革・イノベーションの「守護者」をしっかりと担当しなければならない。

「雑草を引き抜いてこそ、稲はよく実ることができる」。違法な者に寛容ということは、遵法者に不公平だということであり、さらには「悪貨が良貨を駆逐する」現象をもたらすことになる。偽物・劣悪な製品の製造・販売、脅し・ごまかし・かどわかし・騙り等の悪

⁵ 中国の将棋用語。2つの「炮」という駒を相互に連携させて防御力を高める戦法。

事、商業機密の窃取等の行為に対しては、国内企業・国外企業を問わず、全て同一視して法に基づき懲罰を加える。

知的財産権の保護は、発明・創造の火種を保護し、革新者の権益を擁護することである。知的財産権を嚴重に侵犯する行為に対しては、巨額の賠償・懲罰の実行を含め、法に基づき厳しく懲戒することにより、違法者に耐え難い代償を払わせることにより、イノベーションに助力する。

（３）科学技術イノベーションを強化する

中国経済は既に世界の前列に居るが、多くの産業はなお世界のミドル・ローエンドにあり、伝統的な粗放式成長ルートは既に不通となっており、科学技術の進歩・構造調整に更に多く依拠しなければならない。これは一種の戦略的・構造的・革新的調整である。

我々は、支援するものと抑制するもの、維持するものと抑制するものを区別することを堅持する。

① 壮大な新製品・新業態を育成する。

サービス業・ハイテク産業・新興産業の急速な発展を促進する。

② 生産能力過剰の矛盾を積極的に解消する。

伝統産業の改造の歩みを加速し、落後した生産能力を淘汰し、グローバル・バリューチェーンにおける中国の製品・サービス業の位置を引き上げることにより、イノベーションが真に更に高い価値を創造できるようにする。

③ 人的資本の投入を強化する。

労働者の素質を高め、産業の技術・質・ブランドの水準を高める。とりわけ、改革加速を通じて、個人事業者・企業に対する様々な束縛を解除し、**中国に各種専門技術者・各種技能労働者が２億人近くいるようにする。**

もし、このように多くの人数の大部分が、皆自分の聡明さ・才智を発揮し、「万人によるイノベーション」・「各人によるイノベーション」という新たな態勢を形成し、体力に脳力を加え、製造に創造を加え、先進技術ないし既存のものをひっくり返すような技術を開発するならば、中国の発展は必ず更に多くの価値を創造し、新たな段階に上ることができる。

（４）中国の都市・農村、地域間の発展はなおアンバランスであり、格差が大きい 力も大きい

人を核心とした新しいタイプの都市化推進は、最大の構造調整である。

我々は、世界の新たな技術・産業革命のチャンスをしっかり掴み、「ブロードバンド中国」・「スマートシティ」等の建設を加速する。都市が多く広く分布することにより広範な内陸の発展を牽引する作用を発揮させ、都市・農村の一体化と地域の段階的開発を促進し、新たなタイプの工業化・都市化・農業現代化の同歩調による発展を実現する。

同時に、民生事業の発展に力を入れ、基本公共サービスの均等化を促進し、社会保障を

強化する。社会保障には起業者の中の失敗者への保障提供が含まれるが、これは彼らに再び起業の機会を提供するためのものである。

我々は、引き続き個人消費を拡大し、内需牽引による経済成長のための新たな動力を形成する。

（５）中国経済はなお発展段階にあるが、資源・環境の矛盾が既に十分際立っており、省エネ・環境保護を強化しなければならない

気候変動に対応することは、中国が責任を負う大国として尽くすべき義務であるのみならず、我々自身の発展ための切迫した需要でもある。中国は生態文明建設を強化するに際し、ただ前進あるのみで、後退はありえない。

我々は、既に汚染に対して宣戦布告し、かつ相応の国際責任を真剣に履行している。現在 2030 年前後の中国温室ガス排出抑制行動目標を検討中であり、その中には二酸化炭素排出のピーク値・炭素排出強度のウエイト低下・非化石エネルギーのウエイト上昇等が含まれる。

中国は、グリーン・循環・低炭素による発展について、決意を抱いているのみならず、能力もある。我々は科学技術イノベーションにしっかり依拠して、困難が卓絶し継続が不断な努力を払って環境対策を強化する。省エネ・環境保護産業の発展を加速し、省エネ・主要汚染物質排出削減のノルマ達成に力を入れ、世界各国と共に地球気候変動に対応するため実際の行動を採用する。

３．むすび

人類は既にグローバル化が深く進展する時代に入っており、各国の利益は相互に依存し、彼我の命運は利害が一致している。世界は中国と離れることはできないし、中国も世界と離れることはできない。

中国が「２つの百年」⁶という奮闘目標と中華民族の偉大な復興という「中国の夢」を実現することは、世界に発展のチャンスと巨大な市場をもたらす。各国間は、もはや相手が勝てば自分が負けるという「ゼロサム・ゲーム」ではなく、Win-Win・互惠となるべきであり、このようにしてこそ世界は繁栄・進歩できるのである。

中国は断固として平和発展の道を歩む。我々は、国際システムの積極的な参加者・建設者・貢献者である。我々は、平和・安定の大環境の擁護に力を尽くし、国際関係の基本ルールを遵守し平和的方式・政治手段により、対話を通じて地域の衝突・ホットイシューを解決することを主張する。我々は、アジアの隣国と不断に協力を深化させ、相違点を適切に処理し、安定・安全の大局を擁護し、平和的秩序を擁護することを望んでいる。

我々は、オープン・公平な世界統一の大市場を唱導し、マルチの自由貿易の仕組みとバ

⁶ 共産党創立百年で小康社会を全面的に実現し、建国百年で中国を富強・民主・文明的で調和のとれた社会主義現代国家とする。

イの自由貿易地域の建設という「両輪が一緒に回転する」ことを支援する。「世界に向けたハイレベルの自由貿易地域ネットワーク」の形成に努力し、各種形式の保護主義に反対し、まして貿易戦争には賛成しない。

我々は、更に積極・主動的な開放戦略の実行を堅持し、開放型経済システムを整備し、輸出の安定を重視し、輸入も積極的に拡大する。サービス業・国境沿い・中西部地域の開放を加速し、外資政策の安定を維持し、更に開放を進める。我々はビジネス環境を不断に整備・規範化し、引き続き外国企業を中国に招聘し投資・興業してもらおう。同時に、国外の先進的技術・成熟した管理経験・優秀な文化面の成果を学習し、革新的な大国となるよう建設に努める。

「大きな智慧による興国は、衆智には及ばない」。つまり、智慧は大衆に由来する。私はさきほど、大衆による起業・大衆によるイノベーションが光り輝く火花を発すると強調した。我々はいかなる時も改革・イノベーションが必要であり、さらには改革・イノベーションの成果を共に享受することが必要である。これは中国の成語を用いて言えば、「衆人が薪を拾えば火焰は高くなる」ということである。

会議参加者各位と言いたいことを思う存分語り合い、改革・イノベーションと開放・発展の道を共同して模索し、価値創造と互惠・Win-Win の策を共同で謀り、中国経済社会の発展と世界の繁栄・進歩のため、あるべき努力と貢献を為すことを希望する。

(9月16日記)